

東京国立 博物館 ニュース

第704号
展示と催し物
案内

2◎ 博物館に初もうで

3◎ 東京国立博物館 本館リニューアル

4-5◎ 本館リニューアル記念 特別公開

6-7◎ 特別展予告「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」

7◎ 特別展予告「写楽」

8-11◎ 総合文化展みどころ案内 2010年12月・2011年1月
日本美術の流れ／特集陳列「香りをたのしむ—香道具—」ほか

12-13◎ みどりのライオン 教育普及事業 講演会
講演会／ワークショップ／ボランティアデー ほか

14◎ INFORMATION 15◎ TOPICS

16◎ 2010年12月・2011年1月の展示・催し物

2010 12 1 2011
月号



トー ハク 東博は新しい門出を迎えます

博物館に初もうで

にっぽんのお正月がここにある

お正月はにっぽんの伝統を感じるとき。美術・工芸の名品はもちろん、和太鼓や獅子舞などのお正月らしい芸能も盛りだくさんの東博に、ご家族そろっておでかけください。美しい日本の文化にふれて、心豊かな新年のスタートをお迎えください。

新春特別展示

「博物館に初もうで——美術のなかのうさぎと国々のお祝い切手——」

2011年1月2日(日)～1月30日(日)
本館特別2室

平成23年の干支は卯、兔です。兔は「因幡の白兔」や「かちかち山」などの昔話に登場し、またその可愛らしさから様々な造形や装飾などにも取り上げられ、私たちに身近な存在です。

兔の季節といえば十五夜、秋を思い出しがちですが、一方で十二支の卯の季節は春、時刻は夜明けを表し、まさに希望に満ちた新年のはじまりにふさわしい動物ともいえます。さらに兔が多産なこと、また月の兔が不老不死の薬をついていたという故事もあって、おめでたい動物でもあるのです。縁起のよい兔をデザインに取り込んだ作品に、慶祝を記念した世界各国の切手を加えて展示し、新年をみなさまとともに喜びたいと思います。(品川欣也)



染付双兔図大皿
伊万里 江戸時代・19世紀
平野耕輔氏寄贈
兔と緑のある「波」と「水」葵を背景に、浮き彫りふうに表示されたつがいの兔が柔らかく暖かな印象を与えます

豆兔時絵螺鈿硯箱 伝永田友治作 江戸時代・19世紀
金の高時絵に螺鈿や鉛、珊瑚を巧みに用い、笹や菊の間から顔をのぞかせる兔を描いています



肩衣 黒麻地波兔牡丹唐草州
浜笹模様 江戸時代・19世紀
袖のない上衣を、兔に波、牡丹に唐草という相性の良い組合せで大胆に染め抜いています

新春イベント

雨天時は場所を変更、または中止になることがあります。

2011年1月2日(日)

- 10:30 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 11:15 紙切り 林家二楽 本館前
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 13:45 紙切り 林家二楽 本館前
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前



2011年1月3日(月)

- 10:30 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 11:15 クラリネット・コンサート アマトゥール 平成館ラウンジ
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 13:45 クラリネット・コンサート アマトゥール 平成館ラウンジ
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

ミュージアムシアター

2011年1月2日(日)、3日(月)の各日先着60名様に、記念品をプレゼント。プログラムの上演日、上演時間等については本誌15ページでご確認ください。

いけばな

2011年1月2日(日)～1月16日(日) 正門・本館
真生流家元 山根由美氏

寛永寺との連携事業

*当館の観覧券の半券をご提示ください
2011年1月2日(日)、3日(月) 10:00～15:00
寛永寺根本中堂特別参拝
根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、天下三銘石之一「黒髪山」と縁起絵巻を公開します。
また、四天王像(江戸時代・元和6年(1620)、台東区登録文化財)、十二神将像(江戸時代・元禄15年(1702))も公開します。

新春東博寄席

2011年1月15日(土) 13:30～
出演:金原亭馬生ほか 料金2,000円 全席自由
※申込方法の詳細は本誌14ページをご覧ください。

ミュージアムショップからお年玉

2011年1月2日(日)、3日(月)
ミュージアムショップで2,500円以上お買い上げの方に抽選でミュージアムグッズをプレゼント

2011年1月2日(日)～10日(月・祝)
美術書バーゲンセール

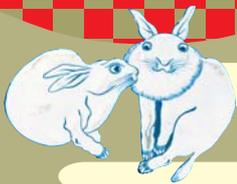
フードアンドカフェ・ラコールからお年玉

2011年1月2日(日)、3日(月)
ご利用のお客様に抽選で、精養軒オリジナルクッキーをプレゼント

ホテルオークラ・ガーデンテラスから甘酒振る舞いサービス

2011年1月2日(日)、3日(月)
レストランご利用のお客様に甘酒をサービス





2011年新春 1月2日(日)

本館リニューアル 東京国立博物館 日本美術の殿堂がますますパワーアップ

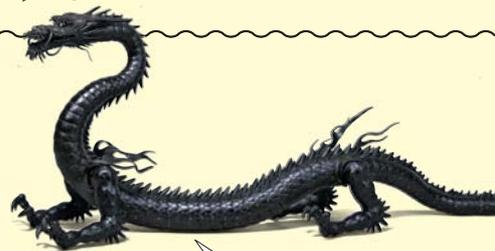
本館12・13室の日本工芸の展示 構成とケースをリニューアル

工芸ならではの魅力を引き出す展示を実現します

手にとったり、身につけたりして使う工芸作品は、あまり大きくはないので、是非それ自体に近づいてご覧いただきたいのです。ところが、今まで陶磁・漆工・刀剣を展示していた本館13室では、興味をお持ちの方でないとなかなか作品に近寄っていただけなかったようです。そこで今回はまず、お客様の導線を考え、作品まで足を運んでいただけるよう展示ケースの配置を工夫しました。ケースの数も増やし、金工の展示室を新設しています。

また本館12室は漆工の展示室として、新しい展示ケースを導入します。作品がお客様の目にとまりやすいよう、展示ケースの存在感を無くすべく、検討を重ねました。近づいて細かい技法をご覧いただけるよう、照明も改良しています。

新装成った年の始めの本館12・13室で、日本工芸の名品をご覧下さい。
(竹内奈美子)



自在龍置物 明珍宗宗作
江戸時代・正徳3年(1713)
この数年海外の展覧会へ出張していた龍が、東京へ戻ってきました



色絵月梅図茶壺 仁清
江戸時代・17世紀
東博の日本陶磁といえばこの仁清。なんととっても新春に見たい作品です



舟橋時絵硯箱 本阿弥
光悦作 江戸時代・17世紀
琳派の漆芸はデザイン性が高く、現在でも大変人気があります



新春の工芸コーナーは
スター選手が勢揃い!

新しくなった本館1階
12・13室の見取り図

展示の名前を リニューアル

「平常展」は「総合文化展」になります

「平成館の特別展には足を運ぶけれど、本館、法隆寺宝物館、表慶館の展示は見たことがありません」

こんな声を耳にすることがあります。そこで、より多くの方にトーハクの魅力をアピールするために、収蔵品と寄託作品を中心とした展示を新たに「総合文化展」と名づけました。

日本文化を体系的にとらえることのできる世界唯一の博物館として、さらには東洋の美術を概観できる世界有数の博物館として、日本と東洋の文化を総合的にとらえるトーハクならではの展示を目指します。

特別展に匹敵するほどのレベルの高い作品の数々、刺激的なテーマ展示をご覧いただける「総合文化展」を、ぜひお見逃しなく!

館内サインを リニューアル

初めて日本を訪れる方から、常連の美術愛好者の方まで
気持ちよくめぐれる案内を実現させます

多様化するトーハクの展示とアクティビティへ、きめ細かいご案内ができるよう、本館の工芸展示リニューアルにあわせて、館内サインもリニューアルします。

- 博物館の顔・正門チケット売り場を見やすくわかりやすく、サインを大型化
- 館内の案内サインをリニューアル: 「総合文化展」のおススメ展示を見逃すな
- 展示解説の中国語・韓国語表記を増やして相互の文化的理解の拡大を

この3本柱を軸に、デザイン室が中心となって進めました。どんなふうにかわったか、ぜひ確かめにきてください!!
(木下史青)



家族で楽しむ お正月のハンズオン アクティビティ 東博ウサギめぐり&掛軸ふうカレンダー

新年1月2日(日)・3日(月)の2日間、ご来館の先着5000名のみなさまに「東博ウサギめぐり&カレンダー」(両面)をお渡しします。楽しいクイズやアクティビティを行います。ご家族で、ぜひご参加ください。 *なくなり次第終了

展示室でウサギを探そう! 「東博ウサギめぐり」

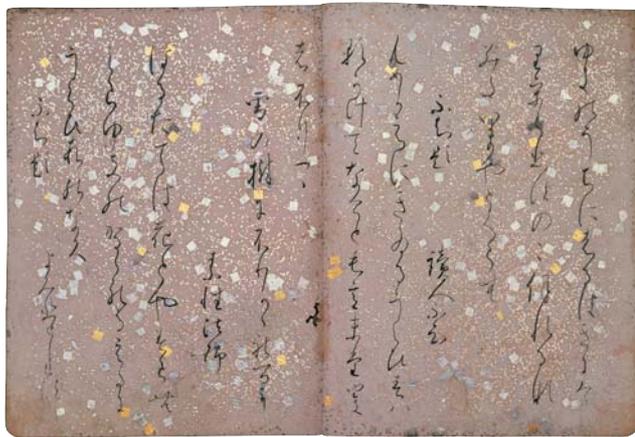
2011年1月2日(日)・3日(月) 11:00 ~ 16:00 本館20室

2011年は卯年。お正月の東京国立博物館で、ウサギの作品を探してみよう! 博物館に初もうで 新春特別展示「美術のなかのうさぎと国々のお祝い切手」をはじめとする展示室の中には、どんなウサギがいるかな? 「東博ウサギめぐり」でウサギの作品を探し、クイズに教えてください。正解したお子さま(高校生以下)にはオリジナル賞品をプレゼント。

「掛軸ふうカレンダーを作ろう!」

2011年1月2日(日)・3日(月) 11:00 ~ 16:00 本館20室

「東博ウサギめぐり」の裏側は2011年のカレンダーになっています。掛軸ふうデザインの美しい台紙に、今年目標や日本の伝統模様をスタンプで押して、自分だけのカレンダーを作りましょう。



●古今和歌集(元永本) 平安時代・12世紀 三井高太氏寄贈
華麗な料紙と、散らし書きの仮名の美を發揮しています

『古今和歌集』の仮名序から巻第二十まで、すべてが揃っている現存最古の遺品です。美しい文様を雲母^{からす}あるいは空摺り^{からす}し、その裏面には金銀箔を撒いた紫黄、赤茶、緑白などの和製唐紙を用いています。さらにこれらの色の配合を考えて組み合わせた豪華な綴葉装の冊子本で、もとの体裁をほぼ伝えています。散らし書きに技巧を尽くした筆者は、「卷子本古今和歌集」など、一群の名筆を残しており、藤原行成の曾孫定実とする説が有力です。
(高橋裕次)

贅沢な料紙と散らし書きの美
国宝 古今和歌集(元永本)

本館3室
「宮廷の美術」



古今和歌集

この屏風は、天正十八年(一五九〇)に落成した八条宮(後の桂宮家)邸を飾った襖絵であったとされています。桃山絵画における代表的画人の狩野永徳(一五四三〜九〇)の最晩年作と考えられます。



●繪図屏風 狩野永徳筆 安土桃山時代・16世紀
「怪々奇々」と評された永徳畢生の代表作

金箔地の大地と雲を背にした檜の大樹は、幹をうねらせ、大枝を振りかざし、枝先はまるで爪を立てるかのよう。この豪放な形態と濃密な色彩は、檜の力強い生命力となって、当時の美意識を余すところなく表現しています。
(松嶋雅人)

繪図屏風



右上: 富嶽三十六景 礫川雪ノ旦
葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
珍しい雪晴れの富士



右: 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏
葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
海外でも有名な「グレート・ウェーブ」



上: 富嶽三十六景 東都浅草本願寺
葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
富士山と大屋根の三角形が構図の妙

「富嶽三十六景」は、葛飾北斎の代表作というばかりでなく、日本の風景画を代表するものとして世界に知られ、海外の美術館でもその館を代表する収蔵品にあげられています。北斎は、シリーズ四十六枚に富士山の表情をさまざまに描き分けました。今回はそのうちの約半分二十二枚を見ることが出来ます。夏のイメージの強い「富嶽三十六景」ですが、「礫川雪ノ旦」のように冬の姿もあります。新年の訪れにちなみ、富士山の描き分けに注目してご覧ください。
(田沢裕實)

千変万化！北斎の富士
富嶽三十六景

本館10室
「浮世絵と衣裳」



図② 壁画断片 アフガニスタン・バミヤン・フォラディ石窟 7～8世紀 流出文化財保護日本委員会保管
いまは失われてしまったバミヤン大仏をしのぶ貴重な遺品



仏教文化の粹

平山郁夫氏は、生涯を通じて、仏教文化に深い関心を寄せていました。それは、仏教やその文化が象徴する平和への願いや、日本文化の源流への探究心から発したものでありました。展覧会の前半では、マトゥラーヤやガンダーラをはじめ、アフガニスタン、西域、敦煌、中国内地（西安・雲岡石窟・龍門石窟）、アンコールワットという、仏教の代表的な拠点に焦点を当て、平山郁夫氏が強く保護を願った仏教文化の精華を展観します。中でも、ガンダーラの作品（図①）や、いまは破壊されてしまったバミヤン大仏

特別展 文化財保護法制定60周年記念

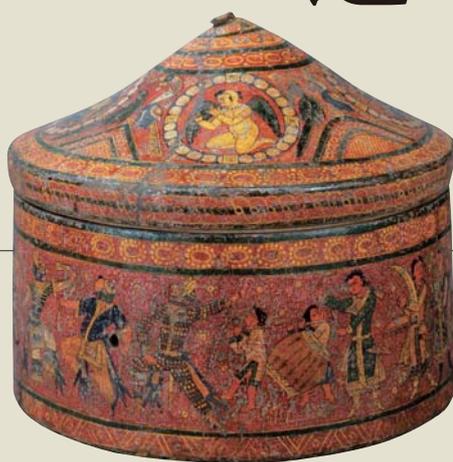
仏教伝来の道 平山郁夫と 文化財保護

日本画家の故・平山郁夫氏の文化財保護に関わる活動を紹介し、平山氏が文化財保護活動の集大成として制作し、奈良・薬師寺に奉納された大唐西域壁画を全点展示します。その業績を通じて、文化財保護の重要性や課題を改めて問う展覧会です。

の周辺に描かれていた壁画の断片（図②）、あるいは西域の精緻な工芸品（図③）などは、人類の偉大な遺産の一部として、かけがえのない文化財の大切さとその保護の必要性を端的に物語るものでしょう。

「大唐西域壁画」

仏教文化への平山氏の関心は、玄奘三蔵が七世紀半ばに達成したインドへの求法の旅に対する深い共感から始まっています。そして、その結実が、平成十二年（二〇〇〇年）の大海日に薬師寺に奉納された「大唐西



図③ 舍利容器（正面）中国・クチャス盆地出土 6～7世紀 大谷探検隊将来奏楽などの場面や天使の姿が流麗に描かれた西域美術の傑作

域壁画」です。展覧会の後半では、この「大唐西域壁画」を、薬師寺以外ではじめて全点公開します。

画面は、玄奘三蔵の西方への旅になぞらえ、西安（長安）からはじまり、中国西域の嘉峪関、西域の高昌故城を経て、ヒマラヤ山脈をイメージした須弥山、アフガニスタンのバミヤン石窟、インドのデカン高原へと続き、ナールンダの夜景（図④）で結ばれています。二十年以上にわたる制作期間を要し、三十七メートルにも及ぶ画面で構成された雄大な壁画は、平山氏の様々な活動や想いが集約された、まさに畢生の大作と呼べるものでしょう。（松本伸之

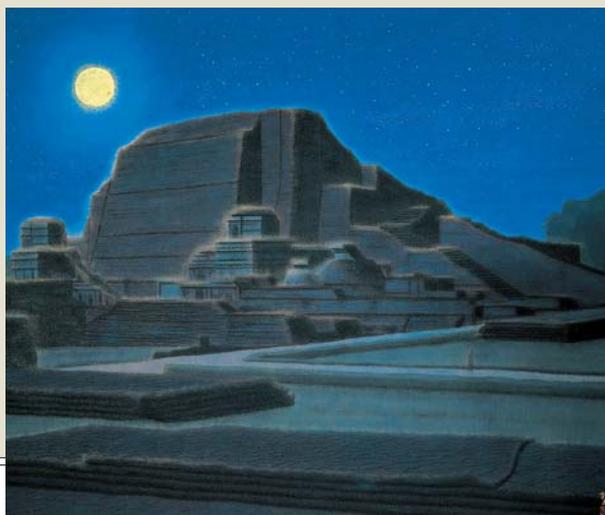
特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」

2011年1月18日（火）～3月6日（日）平成館

主催：東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社 特別協力：平山郁夫シルクロード美術館、法相宗大本山薬師寺 協賛：大日本印刷 協力：文化遺産国際協力コンソーシアム、東京美術倶楽部、朝日生命保険 観覧料金：一般1,500円（1,300円/1,200円）、大学生1,200円（1,000円/900円）、高校生900円（700円/600円）※（）内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください。お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ：<http://www.asahi.com/hirayama/>（朝日新聞社）
<http://www.nhk.or.jp/event/hirayama/>（NHK）

図④「大唐西域壁画」より「ナールンダの月・インド」
平山郁夫筆 2000年 奈良・薬師寺玄奘三蔵院蔵
古代インドにおける一大仏教拠点であった遺跡の情景を叙情豊かに描く



春の上野に、役者は揃うか！

寛政六年（一七九四）、江戸三座の役者を描いた豪華な雲母摺りの大判錦絵二十八枚を一挙に出版し浮世絵界に華やかなデビューを果たしながら、十ヶ月という短い活躍期間で筆を絶った写楽。

「謎の絵師」と呼ばれ、その正体を探してさまざまな「写楽別人説」が提示されてきました。

近年は、阿波藩の能楽師斎藤十郎兵衛が写楽だとして、写楽の正体探

[特別展]

写楽

SHARAKU

しは、ほぼ落ち着きをみせています。本展覧会は、正体探しではなく、作品そのものから写楽芸術の魅力を探ろうというものです。写楽の版画作品は百四十種類を超える図が知られています。版画ですから同じ図が何枚も残っているものもありますが、一点しかない図も多数あります。今回は、複数作品が残る図では保存状態に注意しながら、一点だけの作品は世界中を追って、質と量の両面から写楽の美の真実を追い求めていきます。

写楽版画の全貌を紹介する、まさに空前絶後の展覧会といえるでしょう。

(田沢裕賀)



図① 菩薩立像 パキスタン・ガンダーラ クジャン朝・2～3世紀 山梨・平山郁夫シルクロード美術館蔵 最初期の仏像の姿をよく示すガンダーラ仏の優品

市川鯉蔵の竹村定之進 東洲斎写楽筆 寛政6年(1794)5月 オランダ・アムステルダム国立美術館蔵 当代第一の役者鯉蔵。写楽の重厚さがあらわれた代表作 ©Rijksmuseum, Amsterdam



三代目市川高麗蔵の亀屋忠兵衛と初代中山富三郎の新町のけいせい梅川 東洲斎写楽筆 寛政6年(1794)8月 イギリス・大英博物館蔵 黒の背景の中を歩む二人。のびやかな描線が、演技を大きく見せている ©The Trustees of the British Museum



記念講演会

- ① 2011年1月29日(土) 13時30分～15時
山田法胤(法相宗大本山薬師寺管主)
薬師寺と大唐西域壁画
 - ② 2011年2月19日(土) 13時30分～15時
松本伸之(東京国立博物館学芸企画部長)
仏教伝来の道をたどる
- 会場：平成館大講堂
定員：380名(事前申込制。応募者多数の場合抽選)
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵

便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、聴講を希望する番号(①または②)と日付を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記の上、左記までお申し込みください。1枚のはがきで、1つの講演会につき2名まで申し込みます。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先：〒100-8692 郵便事業株式会社 社銀座支店私書箱644号(1X) 仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護事務局講演会 (①1月29日(土) / ②2月19日(土)) 係
申込締切：①1月11日(火) / ②2月1日(火) 必着

特別展「写楽」

2011年4月5日(火)～5月15日(日) 平成館

主催：東京国立博物館、東京新聞、NHK、NHK プロモーション 協力：国際浮世絵学会 後援：文化庁 協賛：日本写真印刷、みずほ銀行、三井物産 輸送協力：日本航空 観覧料：早割ペア券(11月26日～1月31日販売)2,000円、一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) ※()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください。※前売りは11月26日販売開始 お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600 展覧会公式ホームページ：http://sharaku2011.jp

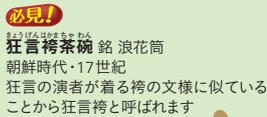
本館2階
日本美術の流れ
2010年 2011年
12-1月の
必見ガイド

鎌倉時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などを展示します。



4 茶の美術 日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

11月2日→2011年1月23日
長寿を象徴する鶴があらわされた茶碗で新年を寿ぎます。



3-3 禅と水墨画
—鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。
11月16日→12月26日

必見!
◎一行書 夢窓疎石筆
南北朝時代・14世紀
山本富子・山本賢二氏寄贈
室町時代における臨済禅の隆盛の基を作った夢窓疎石の書



2011年1月2日→2月6日
必見!
◎囲碁観瀑図屏風 伝狩野元信筆
室町時代・16世紀 増岡ツマ氏寄贈
雪景色の中、滝を眺める高士を描いた異色の作品です

3-2 平安から室町までの宮廷の貴族の好みを反映した美術工芸作品を紹介します。

3-2 宮廷の美術
—平安～室町



必見! 11月16日→12月26日
◎後三年合戦絵巻 巻下
飛騨守惟久筆 南北朝時代・貞和3年(1347)
いくさの現実をも克明に描き切った合戦絵巻の白眉

2011年1月2日→2月6日
必見!
佐竹本三十六歌仙絵巻断簡(忠峯)
鎌倉時代・13世紀 原操氏寄贈
『古今和歌集』の撰者もつとめた壬生忠峯を描いています

3-1 仏教の美術 絵画、彫刻、書跡など、日本仏教の多様で多彩な世界。

10月5日→2011年2月6日

必見!
◎金銅火焰宝珠形舍利容器 鎌倉時代・13世紀
水晶の玉をくりぬいて中に仏舍利をおさめ、火焰を金属の板であらわした舍利容器です

2011年1月2日→2月6日

必見!
◎阿弥陀来迎図 平安時代・12世紀 奈良・長谷寺
極楽浄土から往生者を迎えに来た阿弥陀如来や菩薩たちを描きます。細く切った糸状の金箔をもちいる鍍金による繊細な表現に注目



2 国宝室 絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。



2011年1月2日→2月6日
必見!
◎遺告 良源筆 平安時代・天禄3年(972) 京都・盧山寺蔵
比叡山中興の祖、良源の遺言状の草稿。病床で14日をかけて書き終えたとあります

2011年1月2日→2月6日

必見!
◎秋冬山水図 雪舟等場筆
室町時代・15世紀末～16世紀初
雪舟の代表作品を秋冬ともに展示



START!

1-1 日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

11月16日→2011年5月8日

人物埴輪に加えて、各時代の代表作品を取り上げます。



必見!
◎埴輪 盛装の女子 群馬県伊勢崎市豊城町横塚出土 古墳時代・6世紀
文様で飾られた上着で盛装した古墳時代の女性の姿です



必見!
◎土偶 埼玉県さいたま市岩槻区真福寺城南 真福寺貝塚出土 縄文時代(後期)・前2000～前1000年
みみずくによく似たその顔からみみずく土偶と呼ばれています

1-2 仏教の興隆
—飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。



10月5日→12月26日

必見!
◎日光菩薩坐像 奈良時代・8世紀
京都高山寺旧蔵。丁寧に表わされた髪や端正な顔、写実的な衣など天平彫刻らしさがみられます



2011年1月2日→2月6日

必見!
◎舍利容器 大阪府茨木市太田三島廃寺出土 奈良時代・8世紀
石の容器の中に銅、銅の中に銀、銀の中に金。4重構造の舍利容器です

* 1は「本館1室-1」、2は「本館2室」を表します。

7 屏風と襖絵 —安土桃山・江戸

画面の作品から
生み出される空間の広がりを感じとってください。



11月2日→12月12日

必見!
◎山水図屏風
彭城百川筆 江戸時代・延享4年(1747)
透明感あふれる色彩で描かれた山水に遊ぶ

12月14日→2011年1月23日

大画面を彩り、新年を寿ぐ新春展示です。

必見! 源氏物語図屏風(初音・若菜上) 土佐光起筆
江戸時代・17世紀
御簾越しにみる彩り鮮やかな宮中行事

5 6

武士の装い —平安～江戸

11月30日→
2011年2月20日

8-1 暮らしの調度 —安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に
人々の身の回りを飾った
調度や器を展示します。

10月26日→2011年1月16日

季節に合わせ、冬にちなんだ意匠の
品々をご覧くださいませ。



必見!
松竹蒔絵貝桶 江戸時代・19世紀
松も竹も、冬の寒さに耐える常緑の植物。
不老につながるどころから、おめでたい文様に

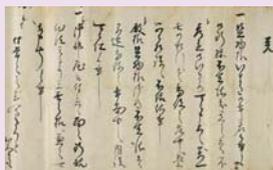
必見!
染付吹墨椿文大皿 伊万里 江戸時代・18世紀 平野耕輔氏寄贈
椿は冬を彩る数少ない花の一つ。
江戸時代には盛んに品種改良が行われました

8-2 書画の展開 —安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の
時代を体感してください。

11月2日→12月12日

江戸時代各地を支配した大名たち「殿様」に
関わる作品や古文書を展示します。



必見!
毛利家老連署申渡書
江戸時代・元禄15年(1702)
不行跡の治まらない殿様に対し、家臣による対策を上申した古文書

12月14日→2011年1月23日

新年を寿ぐさまざまに
趣ある景物。



必見!
雪中老松図 円山応挙筆 江戸時代・明和2年(1765)
常盤木のおめでたい松の老樹が、応挙の神技のような筆遣いで力強く描き出されています

9 能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に
用いられた能面・
能装束・歌舞伎衣装
などを紹介します。

10月26日→12月19日

〔歌舞伎衣装〕
江戸時代末期、大奥で
活躍した役者・坂東三
津江が用いた衣装を
中心に展示。



必見!
羽織・着付
白糸地龍波濤模様
江戸時代・19世紀
坂東三津江所用
高木キヨウ氏寄贈
立体感のある豪快な刺
繍とダイナミックなデザ
インに目を奪われます

12月21日→2011年2月13日



〔舞楽装束〕
右方舞「貴徳」、「陪臚」
に用いられる装束や面、
平舞の装束などを展示
します。

必見!
陪臚襦袢
淡紅地立涌桜模様錦
江戸時代・19世紀
動きのある武の舞には「襦袢」と呼ばれる袖なしの貫頭衣が用いられます

10 浮世絵と衣装 —江戸

〔衣装〕小袖や髪飾り、印籠や根付など
江戸時代のファッションに関する展示です。

10月26日→12月19日

秋が深まる紅葉の季節にちなんだ模様を
中心に展示。

12月21日→2011年2月13日

鳳凰・鶴亀・松竹梅など吉祥模様でお正月を迎えます。

〔浮世絵〕江戸時代の美人や風景を
描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

11月16日→12月12日

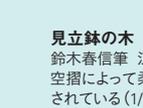
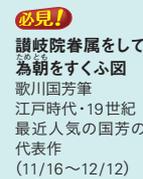
浮世絵の流れに沿って各絵師の得意テーマの作品を
展示。

12月14日→2011年1月10日

年末から正月にかけての風物や風景を描いた作品を
中心に展示。(ただし、1月2日からは、29点のうち20点を「富嶽三十六景」に入れ替えて陳列します)

2011年1月12日→2月6日

1月16日までは、「富嶽三十六景」を中心に、18日からは、雪景色や炬燵など冬の季節にちなんだ作品で構成。



必見!
讀妓院春扇をして
為朝をすくふ図
歌川国芳筆
江戸時代・19世紀
最近人気の国芳の
代表作
(11/16～12/12)



必見!
名所江戸百景・深川洲崎十万坪
歌川広重筆 江戸時代・安政4年(1857)
鷹の目を見た深川の雪景色(12/14～12/26)

見立鉢の木
鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
空摺によって柔らかな雪が表現されている(1/18～2/6)

GOAL!



必見!
小袖 浅葱縮地花紅葉籠模様
江戸時代・18世紀
籠から優雅に散りゆく花と紅葉の
模様は、最盛期の友禅染で染めら
れています(10/26～12/19)



必見!
打掛
納戸縞子地龍甲橋模様
江戸時代・18世紀
永久不変である「常世」の
国の木の実の樹として吉
祥化された橋の模様
(12/21～2/13)



本館14室 企画展示

遊び心溢れる香りの世界

特集陳列

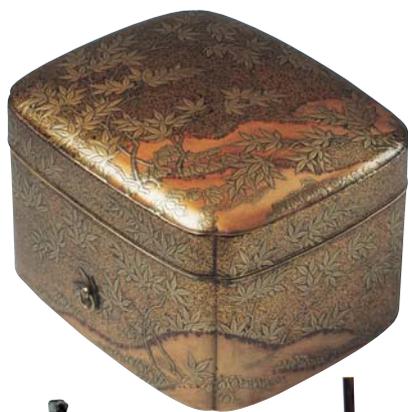
「香りをたのしむ―香道具―」

2011年1月2日(日・祝)〜2月20日(日)

香道具には形式にとらわれず、遊び心に溢れた作品が多く見られます。中でも種々の香木を焚いて、香の名前を言い当てる遊び「組香」に用いる道具類は、造形的にも遊戯性が高いものです。特に人形や造花などを盤の上に並べ、香を聞き当てた数によって、動かしたり、取り合ったりして勝ち負けを競うゲームには、まるで精巧なミニチュア玩具のようなものもあります。

また沈箱や香合など、香木片を収める容器にも自由に趣向が凝らされ、ヴァラエティに富んだ姿が見られます。細々とした香合をいくつも内蔵する沈箱や、釣鐘や太鼓、団扇や笈など小さいながらもさまざまな器物を象った香合は、とても愛らしいものです。時絵で精緻に飾られた作品を中心に、繊細優美な香道具の世界をお楽しみいただきます。

(竹内奈美子)



ついでに
葛 細道時絵沈箱
室町時代・16世紀
『伊勢物語』第9段、宇津山のくだりをモチーフにした時絵



ししおばん
四種盤のうち競馬香
江戸時代・19世紀
四種盤は四種の組香に用いる盤と立物を一組にしたもの

本館16室 歴史資料

昔のカレンダーのいろいろ

シリーズ「歴史を伝える」

特集陳列

「暦と干支」

2011年1月2日(日・祝)〜

1月30日(日)

新しい年の初めにあたって、暦の特集を行います。

暦は時間の流れを体系化して表したものです。時を支配することはすなわち国を支配するのと同義であるとして、各国の為政者によって古くから様々な暦が定められてきました。

日本は伝統的に中国の暦を採用してきましたが、なかでもっとも長く用いられたのが、貞観四年(八六二)

に採用された宣明暦で

す。江戸時代前期に渋川

春海がわが国初の自国暦

「貞享暦」を作成するまで、

実に八三二年もの間用いら

れました。この特集陳

列では、日本で使われた

代表的な暦を紹介すると

ともに、祭礼や農業・漁業に特化された暦、さらに

意匠をこらした暦など

をご紹介します。

干支や陰陽道などと密

接し絡みながら、暦道・暦

学といった固有の学問を

発達させ人々の暮らしに

大きな影響を与えてきた

暦の世界をお楽しみくだ

さい。

(富坂賢)



年中花壇 江戸時代・19世紀写 徳川宗敬氏寄贈
1年間の行事を、挿絵入りで記した暦

平成館 考古展示室

南の島の墓地遺跡出土品

特集陳列

「神秘に満ちた貝製品

―鹿児島県広田遺跡―

12月14日(火)〜

2011年3月13日(日)

九州島の南の海に浮かぶ種子島。広田遺跡は、この島の南東部の海岸に面した砂丘上に位置する弥生時代後期から古墳時代併行期にかけての墓地遺跡です。ここからは数多くの埋葬遺

構とともに百五十体以上の人骨、そして四万点を越す各種貝製品が発見されています。中でも独特の文様を刻んだ貝符(貝の小板)や貝輪(腕輪)、竜佩形の貝製垂飾などは南島地域独特のものであり、工芸的にも優れたものとして注目をあび、一括して重要文化財に指定されています。このたび「博物館所蔵の考古資料相互活用促進事業」として、鹿児島県立歴史資料センター黎明館から、この広田遺跡出土の各種貝製品をお借りすることができました。普段あまり目にする事のない南島の神秘に満ちた貝製品の数々をご堪能ください。



◎貝輪と貝符 鹿児島県南種子町広田遺跡(C地区5号人骨群)出土
弥生時代〜古墳時代・3〜7世紀
左はオオニシ製の腕輪、右3点はイモガイ製で単なる装身具ではなく、護符ともいわれています。両者とも謎の文様が刻まれています



本館3室 宮廷の美術

平安古筆の名品が六幅揃う

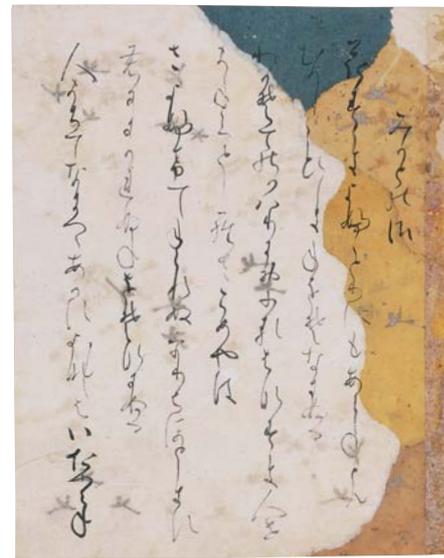
石山切

11月16日(火)〜12月26日(日)

昭和四年(一九二九)、京都・西本願寺所蔵の「本願寺本三十六人家集」(現在国宝)のうち、「貫之集下」と「伊勢集」の冊子装が解かれました。その時分割されたものが、本願寺の前の所在地名より「石山切」と呼ばれています。今回、本館3室・宮廷の美術では、「石山切」を六幅ご紹介いたします。

「本願寺本三十六人家集」は平安朝古筆のひとつの頂点を示すもので、「貫之集下」は世尊寺家第五代・藤原定信筆など能書が書写しています。また、唐紙や打曇紙、染紙などに切り継ぎや破り継ぎを施し、さらに金銀泥で下絵を描

くなど、装飾料紙の代表作とも言えます。(恵美千鶴子)



石山切伊勢集「花すき」 伝藤原公任筆
平安時代12世紀 個人蔵
紙を鈍刀で破って継ぐ「破り継ぎ」がされています

法隆寺宝物館第6室 染織

二二〇〇年前の鮮やかな赤

重文 蜀江錦綾幡

12月21日(火)〜

2011年1月23日(日)

鮮やかな赤地の錦で仕立てられた法隆寺献納宝物(以下、献納宝物)を代表する幡の一つです。幡は仏事の荘厳具の一つで、仏堂内の柱や天蓋に吊したり、庭で立てるなどして用いられた旗です。この蜀江錦綾幡と同じ錦で仕立てられた大形の灌頂幡と推定される蜀江大幡が、奈良・法隆寺に伝えられています。

灌頂幡ですが、献納宝物の金銅製灌頂幡には天蓋が備わっており、中央



◎蜀江錦綾幡と部分拡大(下) 飛鳥〜奈良時代・7〜8世紀
蜀江錦と呼ばれる二種類の赤地錦を用いた豪華な幡

には六坪の大幡、四隅には小幡が飾られています。こうした点を考慮し、す、献納宝物のこの蜀江錦綾幡は、もとは天蓋の四隅に飾られていたものと考えられます。千三百年余りを経たとは思われない見事な色合いを鑑賞ください。(沢田むつ代)

1000年後の未来に
パトタッチ!

保存と 修理情報

重要文化財 菩薩立像の 解体修理が始まりました

東洋館第1室に長らく展示されてきた菩薩立像は、高さが二六〇センチ余り、六世紀に中国山西省で制作されたと考えられる石彫で、日本にある中国彫刻の中では最大級のもです。本体や台座の至る所に亀裂や剝離が多数見られ、像全体が後ろへ傾いているために、これまでは自立できませんでした。また、本体2か所には接合部がありますが、X線

透過検査やレーダー探査により、十分な強度をもつことが判明しています。修理では、台座の解体と安定化、剝離部の強化などを行うこととなりますが、現在は像を寝かせた状態で、台座部分の解体を進めているところです。修理は修理工房・明舎の皆さんが担当しています。(神庭信幸)



修理のために金属の枠に固定して横倒しになった菩薩立像

東洋館

リニューアルオープンへの道

第4回

LED照明の実験

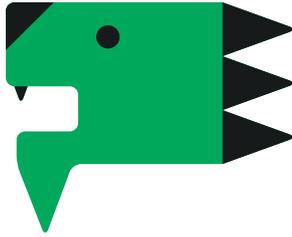
新たな東洋館では、従来多かった蛍光灯に代わり、最近話題のLED(発光ダイオード)照明を導入します。そのため博物館では、LEDの原理や、その光の特性に関する館員の勉強会を開いたり、平成館の壁面ケースを東洋館のケースに見立て、LEDと蛍光灯を比較して、実際の見え方を実験しました(写真1)。



▲写真1 LEDと蛍光灯の比較実験
▲写真2 色温度を変化させて作品の見え方を確認

さらに、展示ケース下部のLED照明の色温度・光源の色味を表す数値を決めるため、展示台と同色のクロスの上に、展示予定の作品(金銅、青銅、青磁)を載せ、天井照明のハロゲンランプのもとで、LEDの色温度を変化させてみました(写真2)。材質によって、作品の特徴をもっともはつきり示す色温度は異なるようです。こうして選びだしたいいくつかの色温度の照明器具を試作し、さらに実験を続けます。(白井克也)

教育普及
事業!!



みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名をご記入の上、下記までお申し込みください。

申込締切:1月24日(月)
必着 ※締切の後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込先:〒110-8712
東京都台東区上野公園
13-9 東京国立博物館
ボランティア室



制作中の様子(右)と
完成作品(左)

◆子どもも大人も楽しく作ろう!! ワークショップコーナー

●本館20室の教育スペース「みどりのライオン」に、「勾玉を作ってみよう」(13:30～、14:30～、15:30～、開始30分前に整理券配布)と「貝合せづくり」(11:00～16:00随時)のハンズオン体験コーナーを設けます。

◆東博ボランティアまるわかり!! ボランティア活動紹介コーナー

●本館20室にて、生涯学習ボランティアの活動を紹介します。ミュージアム・ボランティアに興味のある方はぜひ!



お客さまをお迎えするさまざまな
ボランティア活動を行っています



PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

「思い出の名碗」

陶磁研究家で茶人としても知られる林屋晴三氏。氏が展覧会やお茶会で出会った数々の名碗についてお話しします。

日時:12月4日(土)13:30～15:00

講師:林屋晴三(菊池寛実記念智美術館館長)

「美術のなかの兎」(2ページ参照)

毎年恒例となった年始の干支展示に関連して中国、日本の美術品に登場する兎についてお話しします。

日時:1月22日(土)13:30～15:00

講師:今井敦(博物館教育課長)

*いずれも会場は平成館大講堂、定員:380名(先着順) 聴講無料(ただし、当日の入料は必要)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

「犬張子」

日時:12月7日(火)14:00～14:30 本館20室

講師:猪熊兼樹(貸与特別観覧室主任研究員)

犬張子は、雌雄一対の犬の形をした管で、犬管ともいいます。子供が誕生すると、無事な成長を願って作られました。

「五彩人物文長方合子」

日時:12月14日(火)14:00～14:30 表慶館第2室

講師:三笠景子(保存修復室研究員)

横河コレクションの万暦赤絵、五彩人物文長方合子の魅力についてお話しします。

「香道具の蒔絵」(10ページ参照)

日時:1月18日(火)14:00～14:30 本館20室

講師:竹内奈美子(工芸・考古室長)

香道具の繊細優美な世界について、蒔絵で精緻に飾られた作品を中心にご紹介いたします。

「古代中国の暮らしを伝える明器」

日時:1月25日(火)14:00～14:30 本館20室

講師:谷豊信(列品管理課長)

死者とともに墓に入れる明器(陶製模型)から知ることができる古代中国の人々の暮らしや死生観についてお話しします。



五彩人物文長方合子 景德鎮窯
明時代・万暦年間(1573～1620)
横河下枝氏寄贈



緑釉犬 後漢時代・2～3世紀

*申込みの際にいただいた個人情報につきましては、該当事業にのみ使用し、終了後は速やかに破棄します。

PART
2

五感を使った美術体験 ワークショップ

※当落に関らず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の連絡がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問い合わせください。

ファミリーワークショップ

「からだが動くエビを作ってみよう」

本館展示室のリニューアルにあわせて13室で展示される、「自在置物」(体の各部を動かすことのできる動物の置物)を見て、自在エビを作ってみよう。当館で毎年、大好評のプログラムです。家族で力をあわせて、からだ動くエビを作ってください。(一家族で一体です)

日時:2011年1月29日(土)・30日(日) 各日13:00~17:00
場所:平成館小講堂
対象:小学生およびそのご家族

● 定員:各回10組(応募者多数の場合は抽選)

● 参加費:無料(ただし、当日の入館料は必要です)

● 申込方法:往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで①参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さまの学年 ②郵便番号・住所 ③電話番号(FAX番号) ④参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

● 申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「自在エビワークショップ」係

● FAX:03-3822-3010

● 電子メール:edu@tnm.jp(件名に「自在エビ申し込み」とご記入ください)

● 締め切り:1月15日(土) 必着

● かわいいエビ、できるかな?



PART
3

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

ボランティアによる ガイドツアー

「表慶館アジアギャラリーガイド」

東京国立博物館には日本ばかりでなく東洋諸外国の文化財も收藏されています。中国、韓国、インド、東南アジア、西アジア、エジプトといったさまざまな地域の作品が、現在表慶館で展示されています。毎回4人のボランティアスタッフが、それぞれおすすめ作品をリレー形式で紹介するガイドツアーを期間限定で実施いたします。この機会に、表慶館アジアギャラリーの展示をどうぞお楽しみください。

実施日時:10月1日(金)~12月24日(金)の
金曜日、日曜日 13:30~14:30
集合場所:表慶館アジアギャラリー エントランス
※取り上げる作品はガイド担当者によって変わります。



透影冠帽 中国 三国時代・6世紀



ガネーシャ坐像 カンボジア
アンコール時代・12~13世紀

こどもたちのアートスタジオ

「^{まがたま}勾玉作り」

平成館考古展示室内にある勾玉を見学した後に、滑石を加工して勾玉を制作するワークショップです。

日時:2月6日(日) 13:30~15:30(120分)

会場:平成館小講堂

対象:小学校3年生から高校生

※保護者の方の見学も可能です(ただし当日の平常入館料が必要)

定員:10名程度(応募者多数の場合は抽選)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に、希望コース名と日程、郵便番号・住所・参加



ミュージアムに一歩近づこう 東博ボランティアデー 2010

東京国立博物館内の各所で見かける、ピンク色の名札をさげたボランティアスタッフにお気づきですか? また、「博物館のボランティアさんって、どんな活動をしているんですか?」という質問をいただくこともよくあります。12月5日(日)は国際ボランティアデー。当館の生涯学習ボランティアが日頃行っている活動の集大成として、「東博ボランティアデー」というイベントを行います。この日だけのスペシャルな内容のプログラムも盛りだくさん。東博ボランティアと楽しい一日を過ごして、博物館にもう一歩近づいてみませんか?

日時:12月5日(日) 10:30~16:00

◆なんでも質問!:ボランティアデー総合案内

●本館20室にて、各プログラムのご案内や整理券配布を行います。

◆2つの人気プログラムが初コラボ!:

庭園茶室ツアー&お茶会

●本館北側庭園や茶室・六窓庵の解説と、応挙館でのお茶会を楽しんでいただきます

●時間:11:30、13:00、14:30の3回(各回30名・開始30分前から整理券を配布)

●料金:500円 ●各回約60分

◆全ガイドツアーが一堂に!:各種ガイドツアー

本館ハイライト、浮世絵展示ガイド、英語ガイド、彫刻ガイド、陶磁エリアガイド、考古展示室ガイド、法隆寺宝物館ガイド、樹木ツアー、たてもの散歩、たんけんマップスペシャルツアーなどのガイドツアーが、10:30から16:00の間に次々行われます(集合場所、時間など詳細は当日の告知をご覧ください)。

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

◆魂に響くピアノと二十絃箏のクリスマスコンサート

～ショパン生誕200年記念～

日時: 12月19日(日) 開場13:30 開演14:00

会場: 平成館ラウンジ

出演: エフゲニー・ザラフィアンツ(ピアノ)、中垣雅葉(二十絃箏)

曲目: 《二十絃箏》

ドビッシェ: 月の光(中垣雅葉 編曲)

三木 稔: 芽生え

中垣雅葉: 急・雪舞(本邦初演)

《ピアノ》

ショパン: ポロネーズ1番 op.26-1、ノクターン2番 op.9-2

ノクターン8番 op.27-2、ノクターン13番 op.48-1、バラード2番 op.38

バッハ: シャコンヌ(ブゾーニ版)

料金: 5,000円 全席自由

※友の会・キャンパスメンバーズ割引 4,000円

※当日は、コンサートチケットで、平常展をご観覧いただけます。

主催: 東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

◆新春東博寄席2011

～お正月恒例!! 博物館 de 初笑い～

日時: 2011年1月15日(土) 開場13:00 開演13:30

会場: 東京国立博物館 平成館大講堂

出演: 金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治、金原亭馬吉

料金: 2,000円 全席自由

※当日は、公演のチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催: 東京国立博物館

チケットのお求め方

●当館正門観覧券売場でのチケット販売

受付時間: 開館日の9:30～閉館の30分前まで(月曜休館)

※12月27日(月)～2011年1月1日(土・祝)、1月4日(火)、1月11日(火)休館

●電話予約販売

申込先: 東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL 03-3821-9270

受付時間: 月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)

引換方法: 公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡します。

※各イベントの詳細は、当館ホームページでご確認ください。

※お車でのご来館はご遠慮ください。

◆ボランティア募集のお知らせ

2011年度 生涯学習ボランティア募集

東京国立博物館では来館者の生涯学習の機会の増大とサービスの向上を図るためにボランティアによるさまざまな活動を行っています。館内施設の道案内、教育スペース「みどりのライオン」や講演会、イベントなどの運営補助、ガイドツアーなど、来館されるお客様をお手伝いする活動をしてみませんか。活動期間は2011年4月から3年間。応募受付期間は2010年12月1日(水)～2011年1月7日(金)。詳細は、当館ホームページ(<http://www.tnm.jp/>)あるいは本館インフォメーションで配布する募集要項をご覧ください。

*お問合せ ボランティア室 TEL 03-3822-1111 (代表)

◆総合文化展チケットデザインリニューアルのお知らせ

1月2日(日)から東京国立博物館の平常展が総合文化展になります。それにともなって、チケットのデザインもリニューアルします。館所蔵の文化財を中心に様々な絵柄がチケットにデザインされております。何の絵柄が出てくるかはお楽しみですが、皆様にとってもお馴染みの文化財も数多く扱っております。是非、チケットにもご注目下さい。



◆年末年始の休館日

12月27日(月)～31日(金)は休館です。新年は1月2日(日)から開館。4日(火)は休館となります。

◆本館閉室のお知らせ

11月29日(月)～2011年1月1日(土)は、本館1階11～16室を、12月13日(月)～1月1日(土)は、本館17～19室を、展示環境改善のため一時閉室いたします。

◆特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」ご招待券プレゼント

本誌6ページで紹介した特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」(2011年1月18日(火)～3月6日(日))のご招待券を、抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は2011年1月18日(火)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係



◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。

年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

主な特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ

東京国立博物館総務部 賛助会担当

TEL 03-3822-1111 (代)

東京国立博物館賛助会員 2010年10月18日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様

維持会員

木村 則子 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
篠内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳富 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
榎田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 瑠 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
福田 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 淳子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 孝子 様
田村 久雄 様
高橋 徹 様
栄田 陸子 様
観世 あすか 様

維持会員 団体

東京電力株式会社 様
TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 小西美術工藝社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育仲社 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
鈴木 徹 様
熊谷 勝昌 様
眞中 富士男 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
加藤 孝明 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
阿部 明美 様
東京西ロータリークラブ 有志 様
酒井 弘文 様
木越 純 様
井上 保 様
(ほか42名3社、順不同)

TOPICS

12月26日(日)までの金・土・日・祝日

上演開始:	10時	11時	12時	14時	15時	16時
国宝 金銅灌頂幡	■		■		■	
国宝 不空羅索観音立像 宝冠		■		■		■

2011年1月2日(日)～3月27日(日)の金・土・日・祝日

上演開始:	10時	11時	12時	14時	15時	16時
洛中洛外図屏風 舟木本	■		■		■	
江戸城一本丸御殿と天守一		■		■		■

※各回30名。各回ごとに予約が必要です。上演開始の10分前までに本館1階エントランスにて受付
※12月23日(木・祝)は、ミュージアムシアターは休演します
※1月2日(日)、3日(月)は、混雑のためお1人様1回限りのご観覧となります

【作品介绍】

VR作品「法隆寺献納宝物」

国宝 金銅灌頂幡「飛鳥の天人」

「灌頂幡(国宝)の制作当時の光り輝く姿を再現し、日本金工史上最高の傑作の一つを細部にわたって様々な角度から解説します。

VR作品「東大寺法華堂」

国宝 不空羅索観音立像 宝冠

数多くの宝玉が使われている奈良時代の名品をVRで再現し、通常は近寄って見られない高さ88センチの宝冠をシアターの画面でご覧いただけます。

VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」

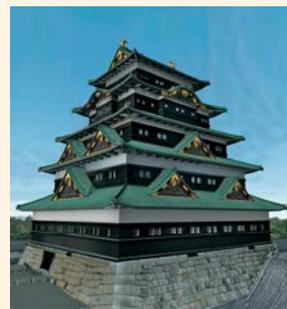
「洛中洛外図屏風(舟木本)」(重要文化財)を、高精細画像を用いたVRで再現し、屏風に描き込まれた名所や人々の姿をご覧いただけます。

VR作品「江戸城一本丸御殿と天守一」

豪華絢爛な本丸御殿や焼失した寛永の天守をはじめ、現存しない江戸城の当時の様



VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」より



VR作品「江戸城一本丸御殿と天守一」より

子を再現し、実際にその場にいる様な感覚でご覧いただけます。

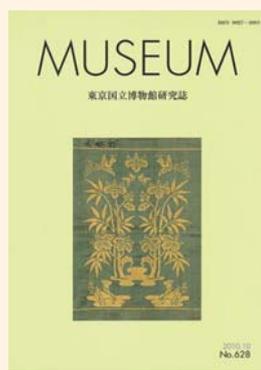
◆MUSEUM 628号

(2010年10月15日発行)の掲載論文

①「心夢衣」(牡丹唐草文印金袈裟)についての一考察——伝来と文様を中心に——
宮尾素子(林原美術館学芸員)

②「田安德川家伝来肉筆女装雛形に関する一考察」水上嘉代子(遠山記念館学芸員・当館客員研究員)

《表紙解説》「青色御袍裂」猪熊兼樹(当館貸与特別観覧室主任研究員)



◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展覧会「筆墨精神—中国書画の世界—」2011年1月8日(土)～2月20日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別陳列「特別おん祭と春日信仰の美術」12月7日(火)～2011年1月16日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「没後120年 ゴッホ展」2011年1月1日(土・祝)～2月13日(日)

- * 5 詳細は本誌3ページをご覧ください
- * 6 有料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください
- * 7 詳細は本誌12ページをご覧ください
- * 8 詳細は本誌7ページをご覧ください
- * 9 詳細は本誌13ページをご覧ください

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円

発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館・奈良国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで

〈郵便振替でのお申し込み〉

- *振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください
- *振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- *振替手数料はお客様の負担となります
- *ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号00140-1-668060

- *振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◆お問合せ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101

- *振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
- *振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- *振替手数料はお客様のご負担となります
- *次号より送付ご希望の場合、締切は2011年1月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2010年12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2010年4月～9月の土日祝休日、および10月～12月の特別展開催期間中の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)。

休館日

原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(12月27日(月)～2011年1月1日(土))。

総合文化展(平常展)観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

- * ()内は20名以上の団体料金
- * 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
- * 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

[16ページのカレンダー内 *1～*8]

- * 1 詳細は本誌12ページをご覧ください
- * 2 詳細は本誌13ページをご覧ください
- * 3 12/18、1/29は手話通訳付きです
- * 4 有料イベントです。詳細は本誌14ページをご覧ください

東京国立博物館2010年12月・2011年1月の展示・催し物

2010年
12月

2011年
1月

東京国立博物館ニュース 第704号 平成22年12月1日発行(隔月1回偶数月発行) 編集/東京国立博物館広報室 ©東京国立博物館
発行/東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL 03-3822-1111(代表) *ホームページ(URL) <http://www.tnm.jp/>

独立行政法人国立文化財機構ホームページ(URL) <http://www.nich.go.jp/>

制作/美術出版社「デザインセンター」

1 WED	📅14:00
2 THU	📅📅14:00
3 FRI	夜間開館(20:00まで) 📅13:30 📅15:00 📅
4 SAT	時間延長(18:00まで) 📅📅11:00 📅13:30 📅14:00 📅15:00 📅 月例講演会「思い出の名碗」13:30 平成館大講堂*1
5 SUN	時間延長(18:00まで) 📅13:30 📅 東博ボランティアデー*2
6 MON	休館日
7 TUE	📅15:00 列品解説「犬張子」14:00 本館20室
8 WED	📅14:30
9 THU	📅📅14:00 📅14:00
10 FRI	夜間開館(20:00まで) 📅13:30 📅14:30 📅
11 SAT	時間延長(18:00まで) 📅📅14:00 📅
12 SUN	時間延長(18:00まで) 📅13:00 📅13:30 📅14:00 📅 秋の庭園開放 「東大寺大仏一天平の至宝」
13 MON	休館日
14 TUE	列品解説「五彩人物文長方合子」14:00 表慶館第2室 本館1階17~19室閉室
15 WED	
16 THU	📅📅14:00
17 FRI	📅13:30 📅15:00 📅
18 SAT	📅11:00*3 📅13:30 📅14:00 📅15:00 📅
19 SUN	📅12:30, 14:00 📅13:30 📅 ♪魂に響くピアノと二十絃箏のクリスマスコンサート 14:00 平成館ラウンジ*4
20 MON	休館日
21 TUE	📅15:00
22 WED	📅14:00 📅14:30
23 THU	📅📅13:00 📅14:00
24 FRI	📅13:30 📅14:30 📅
25 SAT	📅📅14:00 📅
26 SUN	📅13:00 📅 本館1階11~16室閉室 本館1階17~19室閉室
27 MON	休館日
28 TUE	休館日
29 WED	休館日
30 THU	休館日
31 FRI	休館日

1 SAT	休館日
2 SUN	獅子舞12:00, 14:30 本館前 和太鼓10:30, 13:00 正門内池前 紙切り11:15, 13:45 本館前 東博ウサギめぐり&掛軸・ふうカレンダーづくり*5 📅 博物館に初もうで
3 MON	獅子舞12:00, 14:30 本館前 和太鼓10:30, 13:00 正門内池前 クラリネット・コンサート11:15, 13:45 平成館ラウンジ 東博ウサギめぐり&掛軸・ふうカレンダーづくり*5 📅
4 TUE	休館日
5 WED	📅14:00
6 THU	📅14:00
7 FRI	📅
8 SAT	📅📅14:00 📅
9 SUN	📅13:00 📅14:00 📅14:30 📅
10 MON	📅
11 TUE	休館日
12 WED	📅14:30
13 THU	📅📅14:00 📅14:00 📅14:30
14 FRI	📅14:30 📅15:00 📅
15 SAT	📅📅11:00 📅13:30 📅14:00 📅14:30 📅15:00 📅 新春東博寄席 13:30 平成館大講堂*6
16 SUN	📅12:30, 14:00 📅
17 MON	休館日
18 TUE	📅15:00 列品解説「香道具の蒔絵」14:00 本館14室 「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」
19 WED	
20 THU	📅📅14:00 📅14:30
21 FRI	📅
22 SAT	📅📅14:00 📅14:30 📅 月例講演会「美術のなかの兎」13:30 平成館大講堂*7
23 SUN	📅11:00 📅13:00 📅14:00 📅14:00 📅
24 MON	休館日
25 TUE	列品解説「古代中国の暮らしを伝える明器」14:00 本館20室
26 WED	📅14:00 📅14:30
27 THU	📅📅13:00 📅14:00 📅14:30
28 FRI	📅14:30 📅15:00 📅
29 SAT	📅📅11:00*3 📅14:00 📅15:00 📅 記念講演会「薬師寺と大唐西域壁画」13:30 平成館大講堂*8 ファミリーワークショップ「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 平成館小講堂*9
30 SUN	📅14:00 📅 ファミリーワークショップ「からだが動くエビを作ってみよう」 13:00 平成館小講堂*9 博物館に初もうで
31 MON	休館日

📅=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
📅=ボランティアによる表慶館アジアギャラリーガイド、集合場所：表慶館1階エントランス 詳細は本誌13ページをご覧ください
📅=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
📅=ボランティアによる茶会、集合場所：本館1階エントランス(一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)

📅=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)
📅=ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館1階エントランス
📅=ボランティアによるたてもんの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
📅=黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00~16:00
📅=ミュージアムシアター上映(詳細は本誌15ページをご覧ください)
*1~*9は、本誌15ページをご参照ください。
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。
*当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。